

君津市国際交流協会 会報

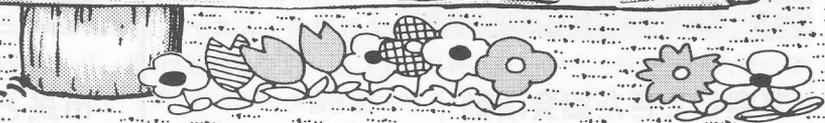
No.8

Kimitsu International Exchange Society (KIES)

1999年1月発行

〔発行〕KIES〔編集〕総務広報委員会
〒299-1152 君津市久保2-11-21 Tel. (54) 9877

郵便物やFAXは下記へ
君津市企画部国際交流室
〒299-1192 君津市久保2-13-1
FAX (56) 1628 TEL (56) 1265



年末恒例のクリスマス・パーティー、今年は名前をYEAR-END PARTYと変えて開催しました。

時：12月12日(土)

所：レストラン・ディジョン

参加者：約150人

1998年

YEAR-END PARTY



中近東の人たち



韓国の人たち



交流を深めた外国人会員

世界の国々のファッションショー

タイランドの人たち



日本の昔の人たち



会員有志によるバンド演奏



会長 前田ヒサ

当協会では各委員会が様々な事業を実施しており、多くの市民との親睦や在住外国人との交流も次第に増えてまいりました。

千葉国際高校では昨年、姉妹校でありますニュージーランドの高校から交換留学生が訪れ、2週間ホームステイ

しました。協会会員との日本語学習やデパートでの買い物、和服の着付け

など体験しました。ニュージーランドの子供たちの心の中に、会員の熱き思いが深く残ったことと感じます。

生涯学習フェスティバルでは、日本語教室の生徒が教室で学んだこと、自分たちの想いなどを発表する機会をいただきました。参加した外国人は文化ホールでこのような体験発表をすることが出来て大変嬉しかったと語っていました。

協会が設立し今年で5年目を迎えます。今後も国際交流のお役に立つよう努力していきたいと思っております。

充実してきた協会活動



名誉会長 三浦公明

今年で4回目の新年を迎えられた君津市国際交流協会は、設立以来、会員数も個人会員490名、団体・法人会員24を数え、国際交流活動の進展のためますます充実した活動をされるとともに、在住外国人、会員はもとより市民との交流を深め、また、市の行事にも積極的にご協力いただいておりますことを心からお礼申し上げます。

市民と共に交流推進

現代社会は著しい技術革新により、人、もの、カネ、情報、文化等が国境を越えて活発に交流する時代を迎えております。また、欧州単一通貨ユーロの誕生などボーダーレス化の波は世界全体の動きとなって、地域社会や私たちの暮らしにも押し寄せてきています。

市といたしましても、海外都市間交流や市民の国際理解の推進、国際化に対応したまちづくりなどの各種施策を皆様と共に進めてまいりたいと存じます。

おめでとうございます 今年も交流の場を広げましょう



顧問 藤沢祐一

国際交流協会の日頃の活動に対し、心より感謝を申し上げます。市議会といたしましても、当協会が活発に推進しています友好国との交流計画や、地域における国際化の推進に対し、今後ともご支援をさせて戴きます。

私は、昭和52年の夏に「青団の一員として」の夏に「青団の一員として」へ行きました。在でありました年達と国際交流北方領土等の友好を深めた。その時以来国を訪問しました(交流)の大切な

議会は今後とも支援

私は、昭和52年の船」の使節で、初めて海外わずか14日の滞りが、現地の青流や世界平和・話し合いを行い、ことがありましたが民間外交

東京湾アクアラインが開通し、多くの人々の交流が期待され、特に国際的にも交流の輪が広がるものと思われま

す。本年も当協会がさらに活躍されるよう心から御祈念申し上げます。



顧問 西 恒美

前田会長の下、日頃からの地道な活動に対しましてまず敬意とお礼を申し上げます。当協会発展の為に、顧問の立場から出来るだけのご協力をして行きたいと思

私は平成9年夏までの2年間コンピュータ関係の会社に居りましたのでアメリカへの出張もありました。でもしている

近隣諸国と交流を

私には平成9年夏までの2年間コンピュータ関係の機会が数多くまるで国内旅行かのような手軽ますます地球はなあと実感してな小さな地球からあらゆる国・と交流もできまめる事が可能になったという訳です。交流にあたって、私たちは海外というと欧米に目が向きがちですが、私はアジア近隣諸国との交流がますます重要になって来ていると思



顧問 宮崎庄右

最近では海外交流と云う言葉が盛んに使われ又行われているが「百聞は一見に如かず」先ず体験する事が大切だと考えます。今小櫃小中学校とブラジル国サンパウロ市の日本語学校、松伯学園の姉妹校締結による才12回訪日使節団30名が来日して

す。文化の違いがお互いに楽しめます。最近イもPTAの引き受けてくすばらしい事です。お箸の食事マ行機や汽車がくれて文句云うのは日本人だけであちらの人は全く気にしていないと云う様な大陸の性格、地球の反対側のせいかトイレトペーパーの取付が日本と反対だったなあと云う人、等々、これは体験しなければ理解できない事。私はこの交流がいつまでも世界の平和を求め長く続く事を

交流は体験で理解

1時間以上もおうのは日本人だけであちらの人は全く気にしていないと云う様な大陸の性格、地球の反対側のせいかトイレトペーパーの取付が日本と反対だったなあと云う人、等々、これは体験しなければ理解できない事。私はこの交流がいつまでも世界の平和を求め長く続く事を



草木染め講習会



11月25日(水)9時から14時まで君津中央公民館で文化交流委員会主催の草木染め講習会を開きました。日本古来の藍染めとコセングサの草木染めの2種類を学びました。参加者は20名で講師は斉藤まり子さんと助手の植田さんです。作品はハンカチとストールです。草木染めは初めての方が多く、完成品をイメージしながら輪ゴム、糸、ビニール紐で布をグルグルと巻き液に浸すのですが、出来上がりの模様がそれぞれ違うことに感動しました。空気に触れることによる色の変化、媒染(みょうばん、鉄、銅など)による色の違いにおもしろ発見で驚きと楽しみを味わいました。昼食をいただきながら和やかな雰囲気の中講師のお話や反省等で有意義な一時を過ごすことが出来ました。次回はローケツ染めや草木を集めることから挑戦したいとの声が沢山ありました。(原田・記)

日本語ボランティア

11月14日文化ホールで生涯学習フェスティバルが開かれました。国際交流協会の紹介ということで、日本語教室にスポットが当たり、学習者と日本語ボランティア合わせて40人が舞台に立ちました。枡美佐子さんが協会の概要を話し、その後、私が学習者に質問。日本で生活して困ったことや腹が立ったこと、教室に来るようになったきっかけや、来て良かったことを話していただきました。「日本人は外国人との交流は苦手かもしれないけど、自信を持ってほしい」とか「挨拶だけでなく、もっと話をしたい」という外国

人の意見は素直に受け入れてみませんか?また、NZ出身のブレアさんが、「どうして日本語ボランティアをやりたいと思ったのか」を日本人に質問しました。教えるよりも、教わることが多いし、人が大好きな人達という点で共通しているのではないのでしょうか。当日初顔合わせ、舞台は初めてという緊張感!皆さん落ち着いて答え、会場からは暖かい笑いが聞こえてきて、充実した20分間を共有できたと思います。人種国籍を超え、共に住みよい地域にしたいという願いが伝われば、満足です。(岡田・記)

バスハイク・浅草



3日前に駐車場の問題により行程を変更しましたが、当日はお天気にまで見離されスタッフ一同顔面蒼白。

12月2日、それでも参加者45名(外国人13名)を乗せたバスが発券すると千葉さんの威勢のいい司会でジャンケンゲームが始まり皆さん学生時代のノリでワイワイガヤガヤ。

午前中は浅草寺付近を見物、女性参加者は買物に夢中です。レストランアラスカでの昼食はブランドの器、一流シェフの料理、行き届いたテーブルサービスに感激。21階からのロケーションも抜群。その後移動して、サッポロビール工場に到着。ここでビールとおつまみのサービスに外国の参加者も「おいしい、おいしい」の連発。

今度のバスハイクでは忘れかけていた「思いやり」や「やさしさ」を皆さんが教えてくれました。御協力が難うございました。深川方面を楽しみにしていた方には申し訳ございませんでした。(藤井・記)

鑑賞炭体験

文化交流委員会としては初めての鑑賞炭作りと木工細工にチャレンジしました。11月15日には参加者が思い思



いの材料を缶の中に詰め、釜入れは専門家にお任せしました。12月6日は前日までの雨も上がり快晴の中を40名の参加者を乗せたバスは清和県民の森へ着きました。到着を待って釜出しがあり、木炭のあとから各自の作品の詰まった缶が出て、参加者に各々自分の缶が渡されました。広場では缶を開けてあげる歓喜の声が聞こえました。

午後はハイキングと木工細工に分かれました。3km余りの山道を紅葉にリンドウを見ながら散策しい汗を流しました。電動ノコ使用の木工組は下絵の通りにノコが進まず悪戦苦闘し、スキの茎を使ってミニ炭俵作りも体験し、それぞれ思い出に残る1ページとなったことと思います。

万全を期して釜入れをしたつもりですが、刻印の判断困難があり一部作品に入れ替わりがあったことをお許しください。(篠原・記)

フランスからの感謝状

11月初めにリヨンのオンブローザ高校から届いた感謝状は、期待以上に喜びを倍増させるものでした。昨年の夏の七週間、フランスの留学生に日本語を指導した日本語ボランティアに対して、感謝の言葉が述べられ、何より歓喜させられたのは、「これからもお互いの文化交流の絆を深めていきたい」という部分です。

日本語ボランティアの活動は本当に地味です。愛情と努力と熱意で、共に成長を喜び合える関係を築いていっています。毎週毎週コツコツと活動したことが、こういう結果を生んだのでしょう。感謝状には、日本固有の文化に触れながら、日本語学習に励み相当の成果をあげて帰国することができたと書いてあります。これからもオンブローザ高校との交流は続きそうです。

(岡田・記)

紅葉の中国の旅

北京市と房山区を訪ねて

西本昭子



都市交流委員会では、海外友好都市の候補地が決定してから「いつか房山を訪問して交流したい」という大きな夢がありました。中国語教室でも「みんな中国に行けたらいいね」と中国への興味は並々ならぬものがありました。海外への旅の計画は初めての試みで、どのくらいの参加希望があるのか不安でしたが、たくさんの応募をいただき26名での実施となりました。

一行は北京を訪れ、故宮や万里の長城など壮大なスケールの歴史遺産に実際に触れるとともに、現在の姿も見てきました。

運営委員会開催
事務局

平成10年度第2回KIES運営委員会が去る11月19日(木)に開催されました。協会規約に述べられているように運営委員会の構成は会長、副会長、専門委員会役員で構成されていて実質的な最高意志決定委員会です。

今回は上半期の予算執行状況、活動報告、下期活動予定、残余予算消化等について討議打合せしました。来年(平成11年度)は財政も苦しい中、市の補助金分担が削減されると予想される中で今後会員増加による会費収入増をして事業運営を考えていく必要があります。今後共、会員の皆様一人一人が積極的に国際交流事業にボランティア参加して頂ければ幸いです。

(志村事務局長・記)

期 間
'98.10.30~11.3

雄大な中国を象徴する万里の長城に登ることが皆の共通の願いでした

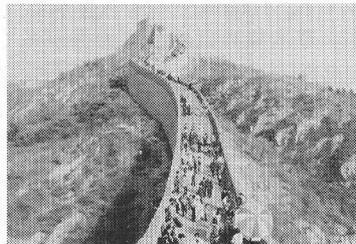
夜の北京空港に着いての第一印象は、照明の暗さとスモッグ。まだまだ電力事情は悪く、暖房は石炭に頼っているとのこと。超近代的な高層ビルのすぐそばに、レンガ造りの崩れかけた古い家が残っていたり、自動車と一緒に自転車や荷車が通っている風景を興味深く眺めました。房山区へ向う高速道路の両側には、のどかな田園風景が広がり、麦畑の緑やレンガ工場の高い煙突など印象的でした。

房山区での歓迎会には李副区長、孫

副区長をはじめ昨年来君された陳さん、張さんら6名の方が出席され、非常に心のこもった歓迎をして下さいました。

一緒に盆おどりを踊ったり、孫副区長は日本語で「北国の春」を歌って下さるなど、友好交流の2時間はアツという間に過ぎた気がします。

李副区長から「ぜひ多くの人に房山を訪問してほしい」と交流の進展を望むメッセージをいただき、今回の訪問の成果はあったものと確信しました。歴史的な遺跡、周口店や雲居寺があり、急速に発展をとげようとしている房山を皆さんも一度訪ねてみませんか？



「どんど焼き」に参加してみませんか

日本の伝統文化に触れてみませんか！

〈 文化交流委員会 企画 〉

どんど焼きはお正月の飾り付けに使った門松、しめなわ、などを持ちよって焼き、その火で餅を焼き食べます。また、一年間使用した御札、お守りをお持ち下されれば燃やしてもらえます。

大野台青年会が中心となって開催するどんど焼きではおでん、甘酒、酒、ふた汁などを用意して皆さんの参加をお待ちしています。

〈 参加要領 〉

日 時：2月3日(節分) 17時30分から開始(小雨決行)

場 所：君津市大野台地区県道92号線沿い会場

参加費：無料

参加方法：

①現地へ直接マイカーで参加のかたは17時30分までに現地集合。

駐車スペースは松本直売所の前にあり。

②バスにて参加の方は協会事務所に17時までに集合して下さい。

(28名まで)

問合せ：君津市国際交流室(電話56-1265)